



ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

厳しい寒さのなかでも、梅や菜の花の便りが届いているこの頃です。皆様お元気ですか？
PHJ メールニュース 2012 年 2 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 2012 年 2 月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 東日本大震災-復興支援
- 1-2. PHJ のタイ子宮頸がん検診推進事業 JoinMDGs で紹介されました
- 1-3. 「国際協力と NGO」に PHJ カンボジア事業が紹介されました
- 1-4. メッセージ de メッセ(武蔵野市)に参加しました
- 1-5. スタッフブログ

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. HOPE パートナー教育
- 2-2. 小児先天性心臓病手術
- 2-3. 支援企業へのご挨拶
- 2-4. ベトナム乳がん予防教育

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 竜巻の被災者支援
- 3-2. 母子健康改善活動 ーバンタン州セラン県テイルタヤサ自治区
- 3-3. 栄養改善活動 ーテイルタヤサ自治区

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 健康な村づくり事業 ーコンポントム州
- 4-2. 助産師トレーニング事業 ープレイベン州
- 4-3. ODA 事業の視察

.....
1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 「東日本大震災」復興支援

PHJ は現在気仙沼を中心に復興支援を行っています。気仙沼医師会のご協力をいただき現地医療機関の必要な機器の調査を行い、昨年 12 月に第 1 ロットの医療機器、什器などを 20 の病院へ寄贈しました。またダンヒル社からサッカー日本代表チームを待にみたてて描いたポスター、ゼブラ社からのシャープペン・蛍光ペン等、PHJ の「アジアのおはなしカレンダー」を気仙沼市に寄贈し、市の行政機関、教育機関、小中学校に配布しました。たくさんのお礼状を頂いています。

2 月 8 日、9 日第 2 ロットの寄贈について気仙沼医師会と打ち合わせるため、また英国の Hilton 財団から小児科病院への復興支援寄贈式に参加するため代表とスタッフが気仙沼を訪問しました。

Hilton 財団からのご寄付は気仙沼市の佐々木小児科病院が医療機器、医学に関する本類を購入するために使われました。2 月 9 日に開催された贈呈式については Hilton Worldwide のプレスリリースにも掲載されました。また三陸新報にも掲載されました。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/archives/53510929.html

http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/archives/53516511.html

1-2. PHJ タイ 子宮頸がん検診推進事業 JoinMDGs で紹介されました

PHJ はタイで 2003 年から 2005 年 外務省からの NGO 補助金を得て子宮頸がん予防教育を実施し、2006 年から 2010 年には武田薬品工業様が引継ぎ、日野自動車販売(タイランド)様及びタイ日野自動車製造様から提供された移動診療車を活用して、より多くの女性が子宮頸がんの検査を受けられるようになりました。このプログラムは政府・企業・NGO でリレー形式で支援を実現した事例として

<http://www.facebook.com/JoinMDGs2015> で紹介されました

1-3. 「国際協力と NGO」に PHJ カンボジア事業が紹介されました

外務省国際協力局民間援助連携室が発行した「国際協力と NGO」—外務省と日本の NGO のパートナーシップ (2011 年 11 月版) に PHJ カンボジア「コンポントム州母子保健改善事業 (2009-2010 年度)」が、外務省の日本 NGO 連携無償協力を受けた活動の一例として紹介されました。

1-4. メッセージ de メッセ(武蔵野市協同推進事業)に参加しました

2 月 19 日(日) 武蔵野市 NPO・市民活動ネットワークが開催した行政のサポートを得ている事業を行っている団体の活動を発表するメッセに参加しました。PHJ は武蔵野市の補助金をいただいた「アジアのおはなしカレンダー」と東南アジアでの母子保健事業、東日本大震災支援活動を紹介しました。

1-5. スタッフブログ

タイ、カンボジア、インドネシアの様子をスタッフがお知らせしています

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. HOPE パートナー教育

1998 年以来累計 215 名の患者を支援し、132 名が卒業しました。現在 62 名のドナーが 60 名の患者

を支援しています。サンパトン、チェンライ、サンサイ各病院と RICD で職業訓練としてスカーフと帽子作りに合計 39 家族が参加しました。1 月 14 日のサンサイ郡のこどもの日に支援したイベントでは 800 名が参加し体重測定を実施しました。

1 月末に HOPE パートナー会員 2 組が支援している子供を訪問しました。このプログラムがどのように運営され支援している子供たちが医療やリハビリを受けているかを確認してよかったとの報告を頂きました。4 月 1 日に発行するホープニュース 60 号の会員のひろばでご紹介いたします。

2-2. 小児先天性心臓病手術

1 月には 2 名の手術を実施しました。

また 1 月 13 日にはチェンマイ大学病院での子供の日の活動を支援。200 名が参加し、体重測定などを行いました。過去に手術を受けた患者のフォローアップも実施しました。

2-3. 支援企業へのご挨拶

PHJ タイ担当者とタイ事務所所長がタイ事業を支援して下さっている企業 5 社を訪問し、支援事業について報告をいたしました。各社から今後の支援について前向きなコメントを頂きました。

2-4. ベトナム乳がん予防教育

2011 年 1 月にテストプログラムとしてスタートした乳がん予防教育は 12 月に 1 年間の目標を達成してレビュー会議を終え支援先へ報告を提出しました。2012 年 1 月から 2 年目のプログラムを別の地区の女性を対象に開始しています。タイ事務所はトレーナーの育成をアドバイスしており、2 月に研修を予定しています。

.....

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 竜巻の被災者支援

1 月号でお知らせしましたが PHJ インドネシアが活動しているジャワ島セラン県では 1 月初めから大雨に見舞われ、活動にも支障が出ました。1 月 15 日大雨による川の氾濫でテイルタヤサ自治区テンクラック村の 91 棟が浸水しましたが避難民などはいなかったため緊急支援は見送りしました。1 月末には同じテンクラック村で竜巻が発生し、57 棟が全壊かほぼ全壊、239 棟が被害をうけました。幼児 1 名が倒れた木の下敷きになり死亡しました。PHJ 事務所はすぐに毛布、石鹸、歯磨粉、歯ブラシなど 30 セット、非常食 100 食を届けました。避難所での炊き出しに、各村の栄養菜園で収穫された野菜を提供しました。なお同村で建設していた診療センターには被害はありませんでした。

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52069881.html

3-2. 保健・母子健康改善活動 —テイルタヤサ自治区

1 月の保健教育のテーマは「貧血と栄養」でした。貧血の原因として食事内容、多産を説明しました。質問の中には高血圧の人も鉄分の補給剤や血液増加剤を取らないといけないかなどの良い質問もありました。参加者は 178 名の妊婦を含む 390 名でした。

3-3. 栄養改善活動 –テイルタヤサ自治区

12月に実施したメニューコンテストの各村のメニューを基に栄養教育・調理実習を行いました。各村の栄養菜園で収穫した野菜が材料となっているため、参加者は興味深く実習を受けました。活動参加者は幼児120名を含む240名でした。

10月に本格的に始動した「栄養菜園」活動が活発になり、雨期に入ったのでホウレンソウ、空芯菜などの葉物収穫が本格化し、長豆、なすの収穫が可能になりました。バナナ・パパイア・カッサバなどの果物、根菜類はもう少し時間が必要となっています。収穫された野菜は栄養状態が良くない乳幼児を持つ家庭や貧血気味の妊婦に優先的に配布されますが、前述の1月29日の竜巻災害の避難所の炊き出しにも提供しました。

.....

4. PHJカンボジア事務所のニュース

4-1. 健康な村づくり事業 –コンポントム州

保健センター運営改善：4つの保健センターでスタッフ会議が開催され出席し、スタッフ間の問題への対応をサポートしました。

コミュニティー・ケア・ワーカー（CCW）育成：FY12は30名を育成。第2回トレーニングを実施しました。知識習得と実地訓練で産後検診推進のための戸別訪問を研修しました。

村人が衛生的な生活を実践：45世帯にモデル世帯になってもらうためトイレ建設資材を支援し、1か月以内に建設してもらう約束です。対象の4村のモデル世帯に体の衛生について各1回教育を実施しました。

村と行政サポートのネットワーク支援：保健センター運営委員、保健ボランティア会議は各保健センターで1回開催され、50%が参加しました。伝統的産婆（TBA）の会議には6割が参加し、TBAから保健センターへの出産サービス紹介、保健センターから病院への搬送が報告され、システムが機能していることを確認できました。

搬送サービス：集合村長を中心に収支見通しを想定。年間予算規模はUS\$400。1世帯当たり1か月8円（12か月で100円）を徴収しています。12月から始まり1月まで60%の徴収率でした。カートは発注済、支援企業のロゴを側面に張ることになりました。

4-2. 助産師トレーニング事業 –プレイベン州

12月にトレーニングを終了した2名の助産師が地元の4村、計8村で保健教育を実施し、469名の村人が教育を受けました。テーマは母乳育児、妊婦健診、家族計画、産後健診から選びました。参加した村人への知識確認テストでは保健教育前平均52%から85%へと向上しました。

4-3. ODA事業の視察

2010年PHJが仲立ちして日本政府の援助で行われたコンポントム州中央病院母子保健棟整備事業のフォローアップのため外務省、カンボジア市民フォーラム、SHAREからなる調査団が入りました。1月31日にはPHJ久米とスタッフが同行しました。調査の対象は供与施設の管理やインパクトで、施設管理はきちんとされており、出産件数が大幅に増えていることを確認しました。外務省からこのようなNGOによる調査依頼はカンボジアが初めてのようです。

■ イーココロ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2012年2月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。次号の参考にさせていただきます。メールニュースのバックナンバーはPHJ ホームページでご覧になれます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメールニュース配信不要とご連絡ください。

#####

発行者：

アジアの母と子を支える

ピープルズ・ホープ・ジャパン

国際保健医療支援団体 認定NPO法人第1号

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail : info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2012ピープルズ・ホープ・ジャパン

#####